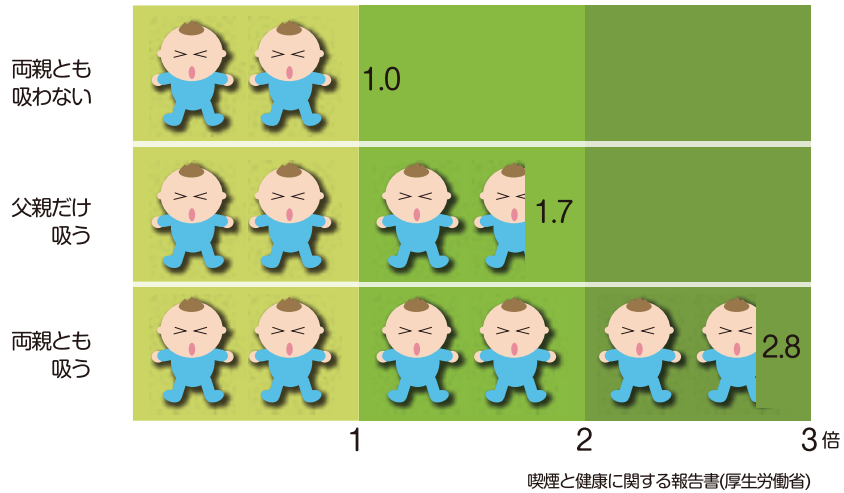


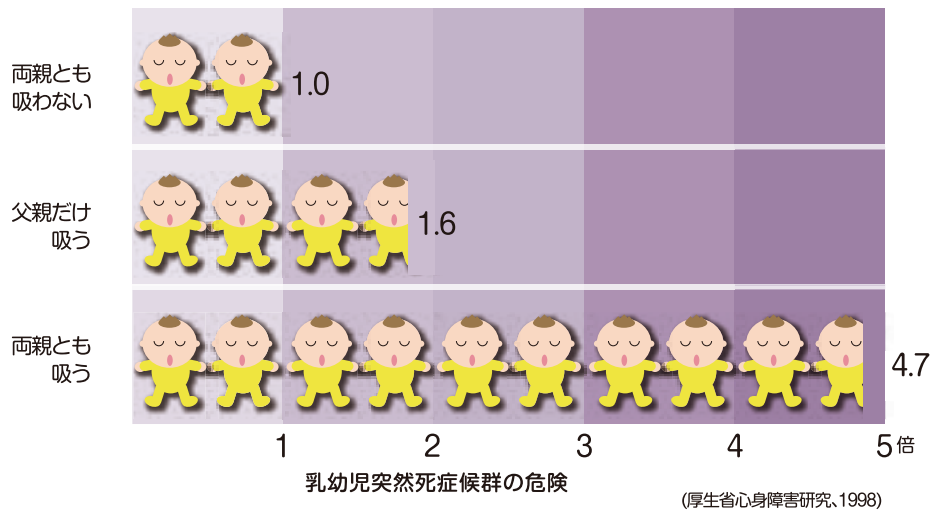
喫煙と低出生体重児の出生頻度

妊娠中の喫煙及び受動喫煙により、小さな体重の赤ちゃんが生まれます。



喫煙と乳幼児突然死症候群(SIDS)との関係

妊娠中からの喫煙及び受動喫煙により、この病気にかかりやすくなることが明らかです。



子育て中も続くの？ 育児中のたばこの害

子育て中の喫煙によって、お子さんの成長発達に影響が見られる他、病気が増えたり、事故の原因にもつながります。

肺炎・気管支炎・喘息など
にかかりやすい
親がタバコをやめた家で7割の
喘息のお子さんが良くなるとの報告も。

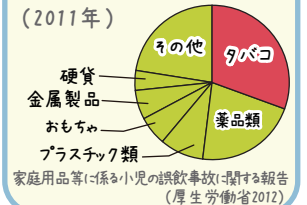
中耳炎等

成長への影響

受動喫煙のあるお子さんま
ないお子さんより平均身長が
0.5~1.6cm低い

乳幼児突然死症候群(SIDS)*
両親が喫煙する場合4.7倍

家庭内の事故の原因に
小児の誤飲事故の30.2%
(2011年)



*乳幼児突然死症候群(SIDS)とは、乳幼児に何の前ぶれもなく、既往歴もないまま突然死をもたらす病気。

月経困難症の増加
月経不順になりやすい

男性よりも少ない喫煙本数で喫煙による悪影響を受けやすい

老化を早めます
エストロゲンの作用を軽減させる

早期閉経
美容(しわの増加)

骨粗しょう症

女性特有のがん
喫煙する女性は

・子宮頸がん
2~3倍

・乳がん
3.9倍

☆受動喫煙環境に
いるだけで2.6倍の
乳がん発生の危険!